２０１４年6月１８日
日刊工業新聞

本社工場

横浜市金沢区に移転

南武、生産効率3割向上

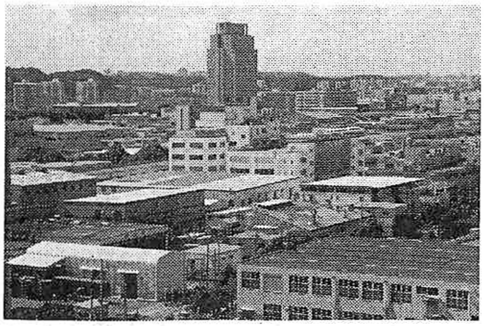
南武（東京都大田区、野村伯英社長、03・3742・7377）は、金沢産業団地（横浜市金沢区）に本社と工場を移転する。2015年5月に稼働の計画。投資額は総額6億5000万円の見込み。新本社工場を生産技術のマザー工場と位置づけ、技術者をタイ、中国の海外生産現地法人に派遣して指導する。野村社長は「グループ全体で金型用油圧シリンダーなどの生産効率を現状比3割増に引き上げる。品質向上にもつなげる」としている。

南武は自動車メーカーやダイカストメーカー向け金型用油圧シリンダーが主力。新本社工場の敷地面積は従来比1000平方㍍広い2200平方㍍。2階建て、3階建ての既存工場棟を活用。3階建てを改修し、複合加工機などの工作機械を新規導入する計画。延べ床面積は計2200平方㍍。移転後も本社の従業員100人を維持する。

本社工場は羽田空港に近く利便性が高いものの、周辺が宅地化して夜間操業できないといった課題があった。現在、本社工場と浜松工場（浜松市）で年産能力は計1万本。移転後も同規模とし、増産要請には夜間操業などで対応する。

本社移転に合わせて海外工場の生産技術の向上にも取り組む。地域特性に応じた製品を開発するため、技術者を派遣して指導する。野村社長は「本社で優れた生産技術を開発し、海外拠点で教えて技術指導料を得るサイクルを構築したい」としている。

タイや中国では現法に生産を任せており、生産技術は以前より向上しているが、本社との連携を密にして効率化を図る。営業も強化し、19年12月期に海外現法の売上高を現状比倍増の14億円を目指す。



▲移転先の金沢産業団地